| 学校番号 | 327 |
|---|---|

# 令和８年度　国際教養科（国際文化科）

| 教科 | 国際教養 | 科目 | ドイツ語会話Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | シュピッツエ！１　コミュニケーションで学ぶドイツ語（朝日出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業のテキストや内容だけでなく、映画や音楽を通じて、文化や生活を学び、ドイツへの興味を高める。
・グループワーク、パートナーワークによる課題、練習を通して、積極的、自発的に授業に参加し、コミュニケーション能力を身につける。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・学習を通して言語知識に加え、国の文化、価値観や歴史的な知識・理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
・学習した語彙や文法、表現を使って情報を理解したり、伝えたいことを表現したりできる。
【学びに向かう力、人間性等】
・ドイツ語を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ドイツ語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。ドイツ語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を目的や場面に応じて適切に活用できる技能を身につけている。 | ドイツ語を使う場面において適切な表現を利用することができ、ドイツ語を通して必要な情報や考えなどの概要や要点を理解できる。 | ドイツ語の背景にある文化に対する理解を深め、ドイツ語を利用して主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | Lektion 7~8 | ２年次の復習<br>曜日、時刻を用いて予定を述べる<br>できること、したいことを表現する<br>方向の表し方 | a：学習した語彙、文法、表現を理解することがで、目的や場面に応じて適切に活用できる。<br>b:日常的な話題について、学習した語句、文法、表現を用いて書いたり話したりできる。<br>c:積極的に授業に参加し、自信を持って会話や発表をすることができる。 | 定期考査<br>確認テスト<br>発表 | 定期考査<br>提出物<br>発表 | 提出物<br>発表 |
| 2学期 | Lektion 9 | 感想を述べる<br>一日の行動を表現する<br>行事について述べる | a：学習した語彙、文法、表現を理解することがで、目的や場面に応じて適切に活用できる。<br>b:日常的な話題について、学習した語句、文法、表現を用いて書いたり話したりできる。<br>c:積極的に授業に参加し、自信を持って会話や発表をすることができる。 | 定期考査<br>確認テスト<br>発表 | 定期考査<br>提出物<br>発表 | 提出物<br>発表 |
| 3学期 | Lektion 10 | 行事について述べる<br>好きなもの、嫌いなもの<br>レストランでの注文<br>１年間のまとめ | a：学習した語彙、文法、表現を理解することがで、目的や場面に応じて適切に活用できる。<br>b:日常的な話題について、学習した語句、文法、表現を用いて書いたり話したりできる。<br>c:積極的に授業に参加し、自信を持って会話や発表をすることができる。 | 定期考査<br>確認テスト<br>発表 | 定期考査<br>提出物<br>発表 | 提出物<br>発表 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度